

ICT活用による新たな地域モビリティ（北海道 天塩町）

取組概要

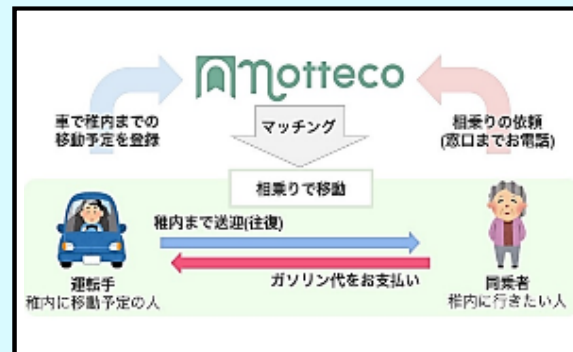
マイカーが必需品となっている公共交通機関が脆弱、不便な過疎地において、通院など移動に困っている高齢者等へICT活用によるマイカー移動の「見える化」による「相乗り」で交通課題を解決。新しい過疎地におけるモビリティを構築を行った

人口 3,159人 (H30.1.1現在)

担当 総務課地方創生係

取組の効果

- ・従来は片道3時間と宿泊を伴う移動が片道1時間で日帰り可能となった
- ・取り組み開始、1年間で延べ173人の同乗利用があった(通院目的の高齢者)
- ・全国初の取組みとして新聞掲載30回、テレビ放映10回(メディア広告効果約3億円)
- ・従来型追加輸送を行なった場合と比較して年間約2,500万円の削減効果(試算)
- ・総務省ICT地域活性化大賞2017において優秀賞を受賞
- ・マイカー利用不可能＝通院不可能に起因する住民の町外への転出を抑制



相乗りマッチングの仕組み

創意・工夫した点

- ・ITスキルが無い高齢者が電話(アナログ)対応できる仕組みにした
- ・前例の無い取り組みを住民に認知してもらうため相乗りツアー、相乗りレンタカー等、興味を持つ、機会をつくった

他団体へのアドバイス

- ・ICT活用は目的でなく、地域の相互扶助を再考(再興)するための手段。費用をかけず、行政へ過度に依存せず、自立・継続できる仕組みづくりができるかがカギ



相乗りの様子